

CLTの推進による地方創生の実現

環境に配慮した都市の発展

● 建築需要が多い

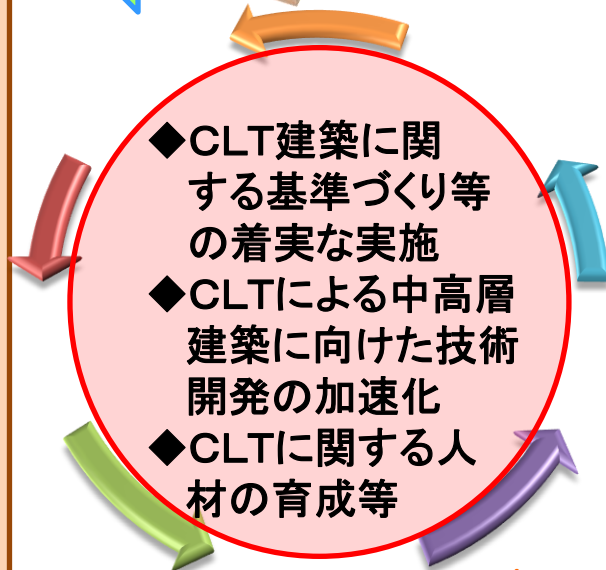
- ・全国の都市部では、中高層（～15階）建築物は年間約49万棟（H26）建設されている
- ・建築後35年以上経過した建物（旧耐震）も多く、今後は建て替え需要が見込まれる

◆ CLTの良さを積極的にPR

◆ CLT建築物への強力な支援

● CLTの技術による都市空間の整備

- ・施工性がよく、建築技術者不足に対応
- ・狭隘な空間での施工が容易
- ・CO2を大量に長期間固定
- ・木は生活空間に潤いを付与
- ・断熱性能が高く、施工期間が短い



◆ CLT建築に関する基準づくり等の着実な実施

◆ CLTによる中高層建築に向けた技術開発の加速化

◆ CLTに関する人材の育成等

需要拡大による資金の還流

森林資源を生かした地方（中山間）の発展

● 森林資源は豊富で成熟

- ・全国の森林の年間成長量 約1億m3
- ・平成26年の国産材需要量は 約2,366万m3（成長量の約24%）

◆ CLT関連産業群への支援

● 森林・林業・木材産業の活性化による地域づくり

- ・雇用の場の創出（移住の促進）
- ・所得の向上
- ・グリーンツーリズム等、観光の振興による都市との交流
- ・森林整備の促進による、水源の涵養やCO2吸収機能による地球温暖化対策の推進

◆ 平成28年度CLT関連予算の確保

◆ 東京オリンピック・パラリンピック関連施設へのCLTの活用
（需要拡大のマイルストーン）

都市の木造化の推進
（CO2の固定）



+

地方での
関連産業の
整備



=

都市と
地方が
共に発展

